



STANDARD

2026 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイホールディングス
代表者名 代表取締役社長 眞野 定也
(コード:2721 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 山室 敬史
(TEL. 03-6455-4278)

連結子会社による固定資産の取得(系統用蓄電所)に関するお知らせ

当社は、2026 年 7 月 30 日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社ジェイクレストが固定資産(系統用蓄電所)を取得することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 取得の理由

当社グループは、2026 年 1 月 28 日付「資本業務提携に関するお知らせ」(以下、「資本業務提携開示」といいます。)にて公表の通り、系統用蓄電池事業の拡大を目的として、系統用蓄電池事業者として台湾トップクラスの実績を持つ Recharge Power Co.,Ltd.(以下、「Recharge Power」といいます。)との間で資本業務提携契約(以下、「本資本業務提携」といいます。)を締結し、Recharge Power の子会社より系統用蓄電所を取得し、主に自社保有により運営することとしておりました。

この度、本資本業務提携における第 1 号案件として、Recharge Power の国内子会社である Recharge Power 合同会社(以下、「RP 合同会社」といいます。)と後述の系統用蓄電所 1 件(以下、「莊川蓄電所」といいます。)についての売買契約を本日付で締結いたしました。なお、資本業務提携開示時点では、第 1 号案件として宮崎県の串間蓄電所の取得を予定しておりましたが、その後、Recharge Power より案件の差替えの提案を受け、協議の結果、第 1 号案件を莊川蓄電所へ変更することといたしました。また、資本業務提携開示時点では業務提携のスキームとして売主を Recharge Power の子会社である Future Grid1 号合同会社としておりましたが、Recharge Power グループ内の事業運営方針の変更により、本件では RP 合同会社が売主となっております。なお、莊川蓄電所取得後の運営スキームについては、資本業務提携開示時点より変更はなく、Recharge Power の子会社である REENS 株式会社が運用・保守業務を担い、アグリゲーター業務については Recharge Power 合同会社が担当する予定です。

当該蓄電所については、当期中に完成引渡しを受け、電力系統への連携が完了し稼働を開始する予定であり、来期の前半には需給調整市場に参入することを計画していることから、当社業績への安定的な収益貢献が早期に実現されることが見込まれております。

2. 系統用蓄電所の概要

名称(仮称)	荘川蓄電所
所在地	岐阜県高山市
蓄電池出力	約 2MW
蓄電池容量	約 8MWh
取得金額	約 7 億円
取得時期(予定)	2026 年 11 月
系統連系開始(予定)	2026 年 12 月

3. 対象となる連結子会社の概要

名称	株式会社ジェイクレスト
所在地	東京都港区麻布十番一丁目 7 番 11 号
代表者の役職・氏名	代表取締役 大田 翼
事業内容	太陽光発電施設の仕入、販売及び仲介事業、並びに系統用蓄電所の開発及び運営または販売
資本金	50 百万円

4. 相手先の概要

名称	Recharge Power 合同会社	
所在地	東京都中央区日本橋箱崎町1-2 TheShore日本橋茅場町6階	
代表者の役職・氏名	代表社員 大田優紅	
事業内容	蓄電システムの設計・開発・導入、エネルギーマネジメントシステム(EMS)の開発・提供、蓄電システムインテグレーションおよび技術支援	
資本金	30 百万円	
設立年月日	2024 年 9 月 10 日	
純資産及び総資産	相手先の意向により非開示	
大株主及び持株比率	Recharge Power Co., Ltd 95.0%	
上場会社と当該会社の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。
	人 的 関 係	該当事項ありません。
	取 引 関 係	該当事項ありません。
	関 連 当 事 者	該当事項ありません。

5. 取得の日程

取締役会決議日	2026 年 7 月 30 日
契約締結日	2026 年 7 月 30 日
引渡予定日	2026 年 11 月(予定)
連系予定日	2026 年 12 月(予定)

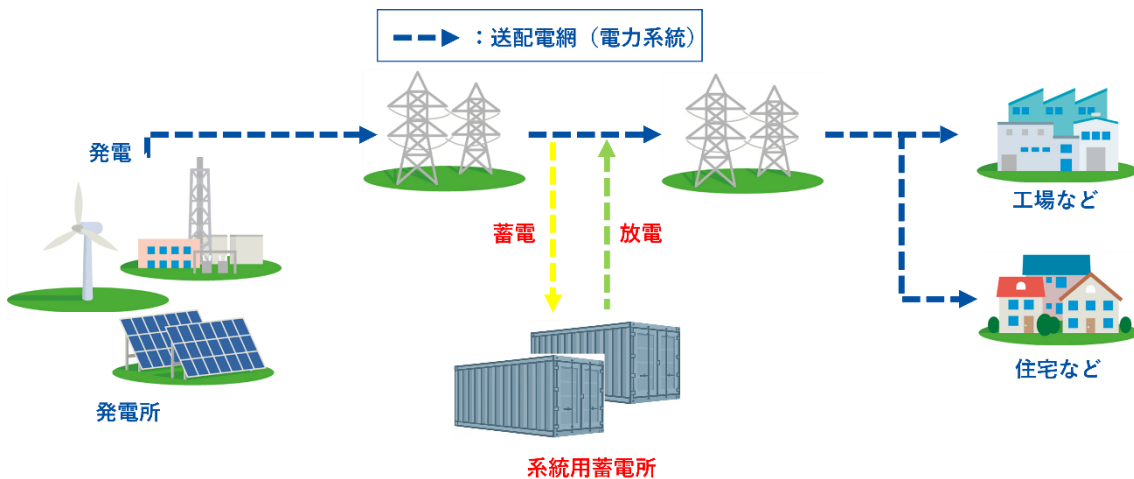
6. 今後の見通し

2026 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微であり、すでに公表しております業績予想に変更はございませんが、今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかに開示いたします。

以上

(別紙)

<参考資料1> 系統用蓄電池の仕組み



【系統用蓄電池の主な役割】

① 電力系統の安定化

系統用蓄電池は、電力系統(送配電網)に直接接続して、電力の需給バランスを調整し、電力系統全体を安定させます。

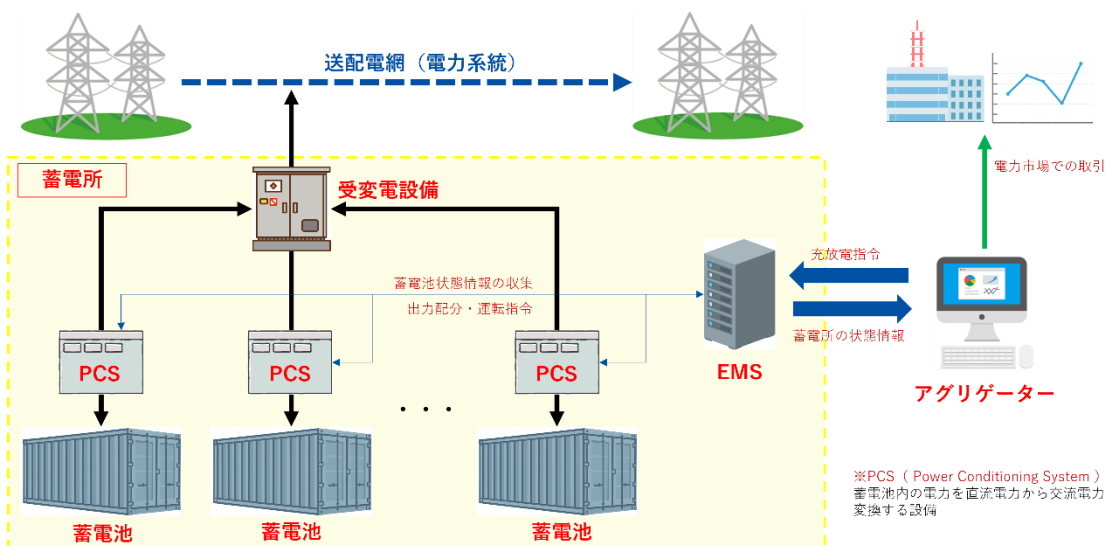
② 再生可能エネルギーの活用促進

発電量が変動しやすい太陽光や風力発電の電力を蓄え、必要なときに放電することで、発電量が足りないときや余っているときの調整役となります。

③ 災害時の備え

停電時に備えて蓄えた電力を供給し、地域や重要施設の電力確保に貢献できます。

【系統用蓄電所の主な構成】



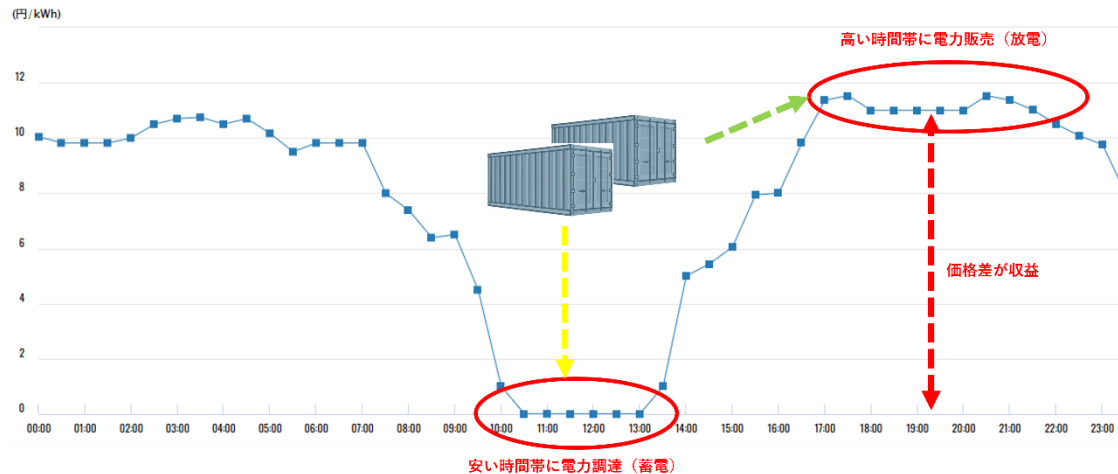
(別紙)

<参考資料 2> 系統用蓄電池による電力取引の仕組み

系統用蓄電池は、主に以下の 3 つの電力市場での取引を通じて収益を得ることを目指します。

① 卸電力市場(JEPX)

電力価格の安い時間帯(夜間など)に蓄電(充電)し、価格が高い時間帯(日中など)に放電することで、価格差を利用した利益(アービトラージ)を得ます。



※図は、JEPX システムプライス(2025 年 11 月 30 日)をもとに当社にて作成

(<https://www.jepx.jp/electricpower/market-data/spot/>)

② 需給調整市場

電力の需要(使う量)と供給(発電する量)のバランスを保つために、蓄電池が持つ「調整力」を提供することで、市場から収入を得ます。

電力は、需要と供給のバランスが崩れると、電力系統の周波数が乱れてしまい、電力の品質が低下し、機器の誤作動や大規模停電につながる可能性が高まります。そこで、その崩れた需給のバランスをリアルタイムに調整する役割として系統用蓄電池が重要となります。例えば、太陽光の発電量が多く電気が余り気味の晴れた日の昼間などには蓄電池が充電することでバランスを取り、逆に夜や曇りの日など電気が足りないときに蓄電池が放電して不足分を補います。

需給調整市場では、その蓄電池が持つ「必要なときにすぐ動ける能力(準備しておく能力)」を取引したときに発生する報酬と、実際に要請を受けて電気を充放電した場合に発生する報酬を受け取ることができます。

③ 容量市場

発電事業者等が、将来(4年後に)必要となる供給力をオークション形式で小売電気事業者に販売することで、対価を得ることができます。

容量市場は、将来の発電能力を前もって買う市場であり、需給調整市場とは違い、容量市場では 電気の“実際の供給”ではなく、“供給できる能力そのもの”を取引します。

(別紙)

<参考資料 3> Recharge Power の系統用蓄電所開発事例

宜蘭蓄電所: 台湾最大規模の民間開発系統用蓄電所(200MW/335MWh)



出典: RP 社 HP より(<https://www.rechargepower.com.tw/projects>)